

「日本を飛び出して、世界で日本を発信しよう！」



昨年夏、私はワシントンDCのある研究機関で開かれたアジア問題を議論するシンポジウムに参加しましたが、そのとき強い危機感を覚えました。日本を語る場に日本人があまりに少ないのです。会場の半数近くはアジア系で、観客席からは中国語や韓国語が聞こえましたが、日本人らしき人の姿はわずかです。日本が誤解される

松下政経塾

佐野裕太さん (30)

シーンも何度かありましたが、訂正する日本人はいません。日本に關する誤った理解が世界中に拡散しかねない光景を目の当たりにしました。

国際社会は今、軍事力や経済力のみを競う時代から、国のイメージも競う時代へと変化しています。日本の何倍ものお金や人を使って自分たちの正しさを主張する国があります。日本も国際社会への訴えかけをより積極的に行って

いかなければなりません。日本を正しく理解してもらうためには何が必要なのか。私は米国で発信力を持つ日本人を増やすべきだと思えます。ただ留学生を増やすだけでは不十分です。必要なのは米国から世界に日本を発信す

るのだという志を強く持ち、5年、10年といった長期で米国に滞在し、現地社会と深い人間関係を築き、日本を正しく発信することです。そこで私は米国に渡ることを決意しました。米国で発信力を持つ研究者として活動し、アジアが抱える問題とそれに対する日本の立場を

米国から世界へ発信していこう。私が愛するこの国が世界から正しく理解されるために、自分の人生を使っていこう。

一人でも多くの日本人が海外に飛び出して、日本のことを世界に伝えてほしいと思います。この国が世界から正しく理解されるための努力を怠るべきではありません。混沌の世界情勢の中で日本が生き抜いていくために、皆さん一人一人の力をこの広い世界で生かしていきましょう。

正しく理解されるために